

樂美術館事業計画要旨

2025 年度 期間 2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

事業計画要旨

令和7年度事業計画概要

I 作品・資料の公開活用、保存・修復、作品資料の収集事業

1) 作品資料公開活用事業

1) 当館展示計画

2025年 新春展 様相の美 文様の美
特別展 樂歴代
特別展 繫 -歴史の狭間を支えた人々-

2026年 新春展 春のことほぎ

2) 手にふれる美術館事業

- ・水月雪花之茶会
- ・Zoom de ギャラリートーク in RAKM

3) 館外展示計画 他の美術館との協力事業

2) 保存・修復事業

- 1) 館蔵作品の保管修理を行う。

3) 作品資料収集事業

- 1) 作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実をはかる。予定作品は現在未定。

II 樂焼、その他日本陶芸、茶道工芸美術の調査研究・資料図書刊行・閲覧事業

- 1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。
- 2) SNSを利用して、1)の利用拡大に努める。
- 3) オンライン講演会の充実を目指す。
- 4) 『改訂新版 RAKU』（英語版 『定本 樂歴代』）の制作

III 学校・社会教育への協力を行う、文化・教育振興・普及事業

- 1) 大学の教育事業に協力する。
- 2) 生涯学習事業に積極的に協力する。
- 3) 地域文化の向上に努める。

IV その他、この法人の目的を達成する為に必要な事業

その他の事業 I

- 1) 広報活動を充実させる。
- 2) 地震、洪水など災害時に備えて収蔵庫の災害対策を強化する。
- 3) データロガーを用いて、より詳細な湿度温度を記録、管理する。

その他の事業 II（寄付行為）

- 1) 2028年にパリ日本文化会館での展覧会開催における費用のため
- 2) 当館多目的ホール・収蔵庫増設の建設費用のため

2025 年度

当館展示事業

展示事業 1 新春展 様相の美 文様の美 2025年1月7日（火）～4月20日（日）

樂家の樂焼茶碗は、装飾を削ぎ落とされた静かなイメージがありますが、意外にも古くから文様を施し意匠を凝らしたものが多く残っております。作品に施される模様や絵にはいろいろな意味が込められています。今回は、樂焼では珍しく、文様に焦点をあて展示致します。樂焼の器形の美しさ、釉薬の窯変による美しさだけでなく、文様に隠された意図や思いをご紹介します。

展示事業 2 特別展 樂歴代 2025年4月26日（土）～8月3日（日）

二年前に開催した「開館45周年記念特別展 定本樂歴代」に準ずる展覧会。昨年度の展覧会では、樂歴代の優品の茶碗を展示する機会が少なかった為、本年度は原点に立ち返り、樂歴代の優品の茶碗を中心に展開し、樂歴代の名品の花入、水指、香合なども展示します。

展示事業 3 特別展 繫 2025年8月10日（日）～12月21日（日）

-歴史の狭間を支えた人々-

長次郎が樂茶碗を興してから450年。樂家では「一子相伝」としてたった一人の子息が跡継ぎ伝統を伝え、作陶の全工程を己一人でこなし、職人の分業を一切行いません。しかし、その長い歴史の中では単純に子息が跡を継げた訳ではありません。子息を授からず養子をとる代があれば、病弱の兄を庇い、弟が代を継ぐこともありました。その背景には、父と子、母、娘、兄弟がそれぞれ歴史に関与し、その伝統を現代に繋げてきた努力の軌跡が作品を通して窺い知ることができます。そんな軌跡に焦点をあてた展覧会です。

展示事業 4 新春展 春のことほぎ 2026年1月6日（火）～4月19日（日）

「ことほぎ」は「言祝ぎ」と書き、言葉を使って祝うことをいい、この「ことほぎ」は言葉だけでなく、形としても表現されます。展覧会では、樂歴代による「ことほぎ」をご紹介します。銘、形、模様、絵柄などさまざまに「ことほぎ」を込められています。是非、樂焼ならではの優しく柔らかな「ことほぎ」を紹介します。

手にふれる美術館事業

展示ケースごしの展観ではなく、作品、資料を実際に手に触れて鑑賞する「手にふれる美術館構想」を促進してきた。今年度は以下の3事業を行う。

1. 特別鑑賞茶会 改：水月雪花之茶会（亭主：樂直入）年4回
2. Zoom de ギャラリートーク in RAKM 特別展の会期ごとに3回
3. 手にふれる樂茶碗鑑賞会 現在休止中

他の美術館との協力事業

- 1) 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本閑雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
- 2) 公益財団法人 佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。
 - ・ 樂直入展 創造の美
2024年10月5日～2025年2月24日
 - ・ 樂直入展 伝統と挑戦
2025年3月8日～2025年9月28日
- 3) 海外美術館との協力関係を深める。
- 4) 2028年にて、パリ日本文化会館と共催にて展覧会をするため目下計画進行中
展覧会タイトル（仮）：創造的交流
樂直入、アンドッシュ・プローデル、ブルーノ・マトン、日本とフランスのあいだ
会期：2028年春（4月下旬～7月上旬 予定）
会場：パリ日本文化会館